

各位

会社名 株式会社テクノクリエイティブ
 (コード番号 9335 TOKYO PRO Market)
 代表者名 代表取締役 三嶋 一秀
 問合せ先 取締役 コーポレート部 部長 松田 英明
 T E L 096-386-2360
 U R L <https://www.techno-creative.co.jp/>

業績予想と実績値の差異および特別損失の計上に関するお知らせ

当社は、2024年7月22日に、その時点での業績の動向等を踏まえ、2023年11月13日に公表した2024年9月期の業績予想を修正いたしました。本日公表した実績値との間に差異が生じたので、下記の通りお知らせいたします。また、特別損失を計上することとなりましたので併せてお知らせいたします。

1. 業績予想と実績値の差異について

(1) 2024年9月期通期業績予想と実績の差異 (2023年10月1日～2024年9月30日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	6,043	251	246	118	59.32円
実績 (B)	5,843	114	108	32	16.14円
増減額 (B-A)	△ 200	△ 137	△ 138	△ 86	
増減率 (%)	△ 3.3	△ 54.9	△ 56.1	△ 72.9	
(ご参考)					
前期通期実績 (C) (2023年9月期)	6,250	455	458	298	149.37円
前期増減額 (B-C)	△ 407	△ 341	△ 350	△ 266	
前期増減率 (%)	△ 6.5	△ 74.9	△ 76.4	△ 89.3	

(2) 業績予想と実績の差異の理由

2024年7月22日の業績予想修正時点では、2024年9月期第4四半期以降、半導体業界の市場環境が改善に向かうと見込まれていました。当社の主要顧客である半導体製造装置メーカーでも、生産装置の増産と当社への発注増加が予想されていたため、業績の上昇を見込んでおりました。しかし、予想に反して製造装置の需要が低迷し、受注が減少したことから、生産台数も減少し、余剰人員が発生する結果となりました。このため、営業利益、経常利益、及び当期純利益が当初の想定よりも低調に推移いたしました。

2. 特別損失の計上について

当社は、これまで退職給付に関する会計処理で退職給付債務の計算方法として簡便法を採用しておりました。しかし、当事業年度において、従業員数が安定的に300名を超えていると判断したため、より正確で信頼性の高い計算が必要と考え、退職給付債務の算定方法を簡便法から原則法に変更いたしました。

この変更により、退職給付債務の見積もり精度が向上し、当社の業績評価がより適切なものとなります。また、原則法への変更に伴い、従来の算定方法との差額として退職給付債務が54百万円増加し、これを特別損失として計上しております。

以上